東日本大震災から10年 つなげよう未来へ。

一人ひとりの力が
大きな力になることに気づいた10年。
「今から」できること。
「今だから」できること。

ゆにふぁん

「ゆにふぁん」は、労働組合や連携する団体が行う「助け合い・支え合い」のさまざまな活動を可視化・共有化して、誰もが心の中にある「志」をつなげ、より大きな力を発揮するための仕組みです。
今号は、ゆにふぁんマップ掲載中のプロジェクトから、東日本大震災の復興支援や防災の取り組みを紹介します。

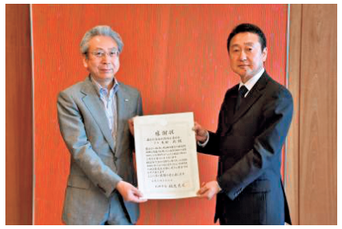
「東日本大震災から10年」の取り組みは ゆにふぁんマップを!

https://www.jtuc-rengo.or.jp/unifan/support-index.html

復興支援の取り組み

植林活動、清掃活動、募金活動など

東日本大震災被災者支援活動
連合北海道・石狩地協札幌地区連合会



「札幌市さぽーとほっと基金」へ寄附金贈呈。北海道に避難した被災児童・生徒への学習支援や、福島県内の青少年団体等の札幌訪問をお手伝いしています。

復興の森
連合秋田

宮城県内（名取市、東松島市）の海岸防災林の再生に取り組んでいます。クロマツやヤマザクラの苗木を植栽し、これまで延べ 238 名の組合員が参加しています。

海岸林再生プロジェクト 10ヵ年計画
公益財団法人オイスカ

連合宮城が推薦

津波で壊滅的な打撃を受けた、全長5㎞×幅200mの名取市海岸林を再生する活動です。これまで全国からボランティア 12,000人が参加。現在もボランティア・寄附金募集中です!

JPsmile プロジェクト&心ひとつに運動
JP労組東北地方本部

薄磯海岸清掃を実施。さらに「いわき震災伝承みらい館」での学習で、震災を風化させない取り組みを行っています。

「ハタチ基金」へのカンパ
電力総連・電発総連

震災発生時に 0 歳だった赤ちゃんが 20 歳を迎えるその日まで、子どもたちに寄り添い継続的に支援を行う「ハタチ基金」へ毎年カンパ活動を行っています。

原発事故避難の飯舘村復興支援活動
特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会

避難直後から 6 年間は仮設住宅でのコミュニティ活動などを、避難指示解除後は帰村支援などを実施しました。

情報労連が推薦

防災の取り組み

ボランティアの養成や救命道具の使い方を学ぶ

救命講習会の受講
JP 労組東海地方本部

急な救護活動ができるように、消防署で心肺蘇生法やAED、止血法を学び、実践練習をしています。

災害ボランティアセンター設置・運営訓練
連合福岡・北九州地協

北九州市社会福祉協議会の講習会へ参加し、災害ボランティアセンターの運営訓練や機能と役割について体験を通じて学んでいます。

JBUパワーバンク（災害ボランティア）活動
基幹労連

「JBUパワーバンク」はボランティアメンバーを養成する基礎講座を開催、災害発生時にはメンバーを被災地に派遣しています。

クラウドファンディング達成

生き残ったマツの子どもたちを育てよう!
ゆりりん愛護会

達成!

- 被災した仙台市荒浜海岸で防災林を再生するため、マツ苗植樹を行います。
- 体験を通じ、地域の子どもたちの環境教育にもつながります。
- 1 月 29 日、目標金額 100 万円に対し 119.6 万円で達成！マツ苗の購入などに使います。

情報労連が推薦